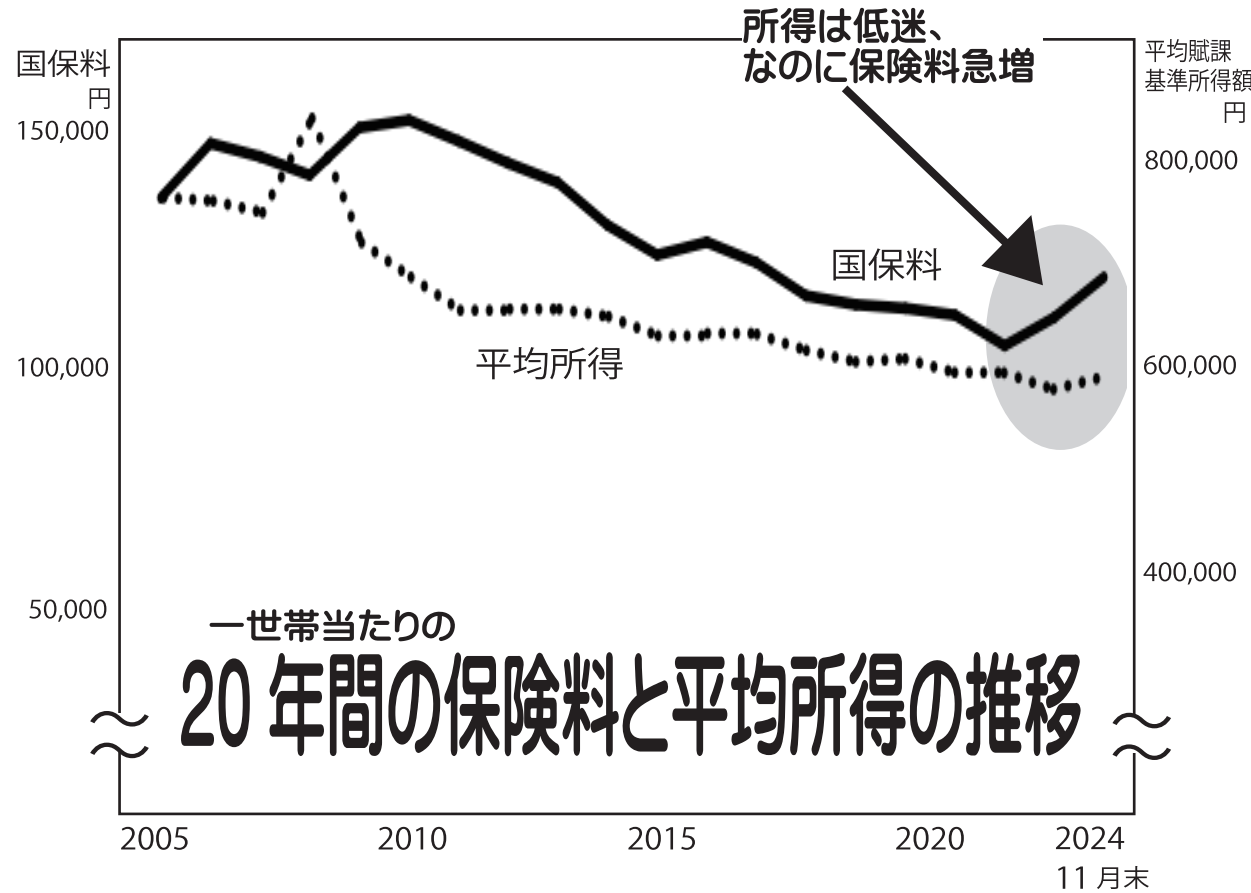


重い国保料負担はやめてください!!



これは国の指示で国保の都道府県化のためです。

20年間は、賃金も上がっていません。全国的には1・4%の伸びです。

市の国保世帯はこの間に、所得が3分の1も減りました。国保の負担が重いと感ずるのも当たりです。

まず左のグラフ。

国保の世帯の平均所得がどんどん下がってきたことが一目瞭然です。しかし、所得が下がるほどには国保料は下がらず。しかもここ数年は、所得は相変わらず低迷しているのに、国保料は一気に値上げです。

20年間の期間をとって、国保を考えてみます。

国保の基金残高



村上かずしげ通信 2025. 2. 16 発行 日本共産党市議団 23-521

とくに国保料の負担が重いのは子どもがいる世帯です。子どもの均等割を廃止して、国保料の引き下げを求めます。



右のグラフ。

国保会計の黒字をためている基金の残高です。2020年前後には12億円を超えていた基金ですが、いまのところ8億円近く残っています。2億円ほどに減っていた2008年ごろとは違います。

国保料の高さはどうしようもないのか。そうではありません。